# 戦略的創造研究推進事業 CREST

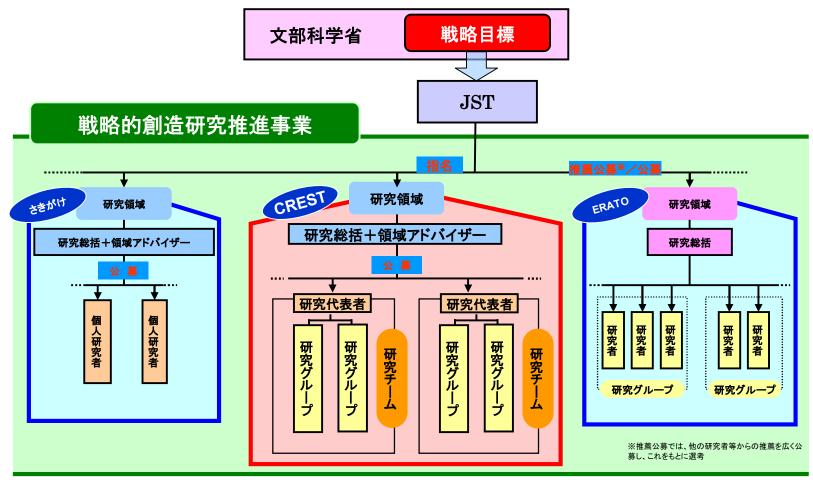
# 平成24年4月

# 科学技術振興機構 戦略研究推進部

(旧:イノベーション推進本部 研究領域総合運営部/研究推進部)

### 戦略的創造研究推進事業について

- ▶本事業は、社会・経済の変革につながる科学技術イノベーションを誘起するシステムの一環として、我が国が直面する重要な課題の達成に向けた基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す創造的な新技術を創出することを目的としています。
- ▶国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを踏まえ、社会的インパクトの大きい目標(戦略目標)を国(文部科学省)が設定し、そのもとにJSTが推進すべき研究領域と、研究領域の責任者である研究総括を定めます。研究総括は、戦略目標の達成へ向けて科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズの創出を目指した課題達成型基礎研究を推進します。



## 戦略的創造研究推進事業について

#### 本事業の目的

今後の科学技術イノベーションの創出につながる、社会・経済ニーズに対応した新技術を創出することを目的として、我が国が直面する重要な課題の達成の達成に向けた基礎研究を推進する競争的資金制度。

#### 本事業の概要・特徴

- ①国が定める戦略目標の達成へ向けた、政策課題対応型(トップダウン型)の戦略的なシーズ探索研究の推進
  - ■インパクトの大きいテーマについて、研究成果を国民へ還元する将来的な姿を、具体的に、戦略目標として 国が設定。
- ②柔軟かつ機動的な研究体制の構築、適切な研究マネジメント
  - ■戦略目標の下にJSTが研究領域を設定、そのリーダーである研究総括の下に産学官のあらゆる研究者を 結集して最適な研究体制を構築。
  - ■研究総括及びJSTが、各機関にまたがる研究者を束ね、目標達成へ向けて効果的・効率的な資源配分を 行うなどの研究マネジメントを実施(バーチャル・ネットワーク型研究所)。
- ③適切な評価と透明性の確保
  - ■研究課題の事前・中間・事後評価は、研究総括が領域アドバイザーとともに行う。中間評価結果は、研究チーム編成見直しや資源配分に反映。
  - ■研究領域および研究総括の事前・中間・事後評価は、外部有識者からなる評価委員会が行う。中間・事後 評価では、研究成果及び戦略目標の達成状況を明らかにする。
  - ■追跡評価(研究領域終了後5年後を目処)により、研究成果の社会還元等の状況を明らかにする。
  - ■評価結果はいずれも、ホームページ上等で公表。

## トップダウン型・ボトムアップ型研究事業について

#### 両制度が車の両輪として異なった側面からわが国の科学技術振興を担う

トップダウン型

科学技術振興機構

ボトムアップ型

戦略的創造研究推進事業

国の政策目標 (科学技術基本計画)

国の戦略目標提示

研究領域・研究総括の設定

国の政策目標実現のために、研究内容に応じた形で 優秀な研究者を動員して集中的に研究を推進

研究成果によるイノベーションの 技術シーズを創成 科学研究費補助金

研究活動により多彩な学術の 振興を図る

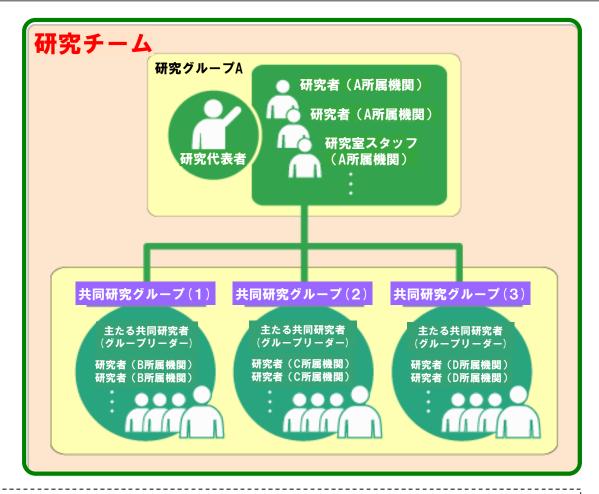
学術的に優れた 独創的・先駆的な研究に対して補助

個々の研究者の自由な発想に 基づく研究提案 第3期科学技術基本計画では、「<u>政策に基づき将来の</u> 応用を目指す基礎研究」と 「研究者の自由な発想に基 づく研究」をそれぞれの意 義を踏まえて推進するとされている。

平成18年の政策評価・独立 行政法人評価委員会による 「独立行政法人の主要な事 務及び事業の改廃に関する 勧告の方向性について」に おいて、両法人はいわば 「車の両輪」として異なっ た側面から我が国の科学技 術振興を担うものとされて いる。

## 戦略的創造研究推進事業 CRESTの概要

- ➤ CRESTは戦略的創造研究推進事業の一プログラムであり、研究総括を中心とした研究領域のもとで研究チームを編成し、研究を推進します。
- ▶研究総括は、研究領域の責任者であり、 戦略目標達成に向けた研究を推進するため、バーチャル・ネットワーク型研究所 である研究領域の長として、採択課題の 選定、研究計画(研究費、研究チーム編 成を含む)の調整、研究代表者との意見 交換、研究への助言、課題評価、その他 必要な手段を通じて研究領域の研究マ ネージメントを行います。
- ▶研究代表者は最適な研究チーム(数名~20名程度の研究者、研究補助者等の集団)を指揮して研究課題を実施します。研究代表者は、当該研究課題全体の研究実施に関する責任を負うことになります。



- ▶ **研究チーム**は研究代表者を中心とした研究集団です。研究チームには研究代表者の研究室メンバーによる「研究代表者グループ」のほか、研究代表者の研究構想を実現する上で必要と判断される場合、その他の研究室あるいは研究機関に所属する研究者等からなるグループ(「共同研究グループ」と呼ぶ)を編成することもできます。なお、共同研究グループを編成する場合は、その必要性や効率も選考の重要な観点となります。
- ▶ 研究チーム編成は、研究代表者の研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。研究代表者が担う役割が中心的でない、研究構想における共同研究グループの役割・位置づけが不明であるチーム編成は CRESTの研究体制としては相応しくないものとなりますので、ご注意ください。

### CREST - 研究期間、研究費

◆研究期間: 5年以内

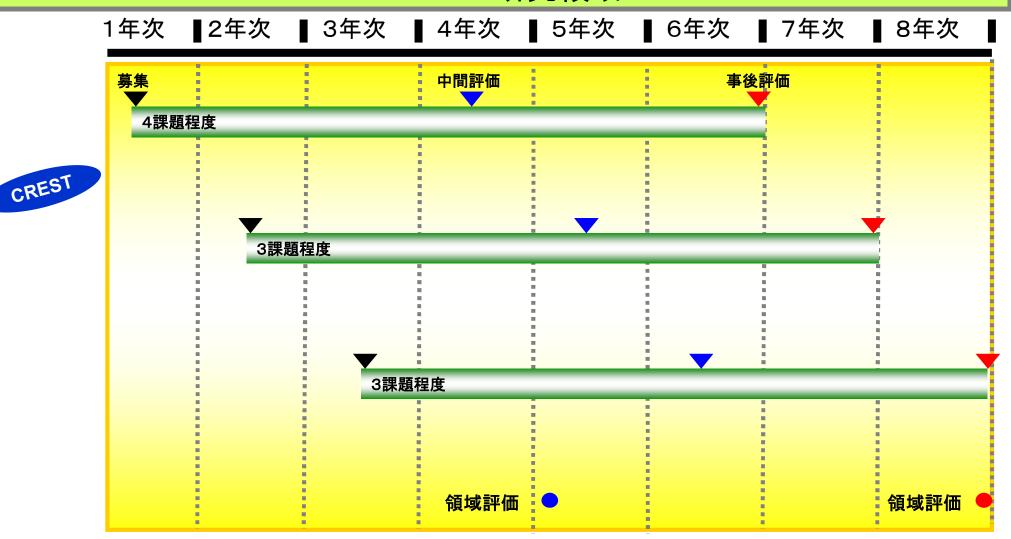
▶終了時期は、研究実施の最終年の年度末とすることができます。(今回の公募に係る採択課題は、最長で平成30年(2018年)3月末日まで。)

#### ◆研究費:

研究費種別	研究費総額の目安
I	1億5千万円~3億円未満
	(研究期間が5年の場合、年平均3千万円~6千万円程度)
П	3 億円~5 億円程度
	(研究期間が5年の場合、年平均6千万円~1億円程度)

- ▶研究費総額は、研究提案の内容に応じて上記の2つの研究費種別から選択してください。研究費種別ごとの研究費総額の目安を踏まえて、研究構想を実現するために最適な研究費を提案してください(この研究費総額は目安であり、この範囲に限定するものではありません)。
- ▶なお選考に当たっては、研究費種別も大きな判断材料となります。研究費種別Ⅱを選択された場合は、研究費種別Ⅰの研究提案と比較して、より大きな研究成果が出ることが期待され、同時により大きな責務を負うこととなりますので、予算設定や体制構築は慎重に検討してください。

# CRESTの研究領域

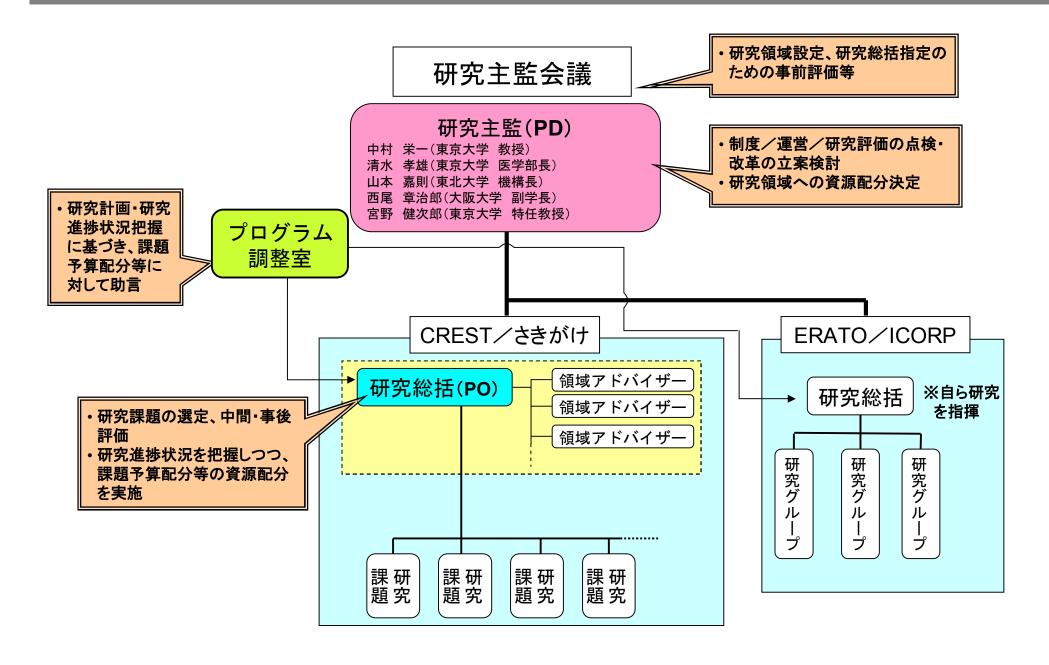


※ 実際の採択件数は、研究領域の趣旨や研究提案の状況、予算により変動します。

## 研究課題評価の流れ

3年 5年 10年 事前評価 事後評価 追跡評価 中間評価 研究課題の選定 ・研究課題の実施状況、成 研究課題の進捗状況の把握 副次的効果を含めた研究 果の把握及び判定 成果の発展状況や活用状 ・今後の成果の展開及び事 況等の把握 業運営の改善 ▶ プロジェクトの成果 ▶ 現状把握 > 研究戦略・研究体制の > 新たな研究領域の創出 実施状況 妥当性を評価 ▶ 研究体制、資金配分や > 新技術の創出 戦略の再考 研究成果 > 社会・経済への貢献 波及効果 > 今後の見込み

## 戦略的創造研究推進事業のPD-PO体制



## プログラム調整室

# 推進体制

# 取組

## 室長 白木 靖寛

(東京都市大学総合研究所教授、 元東京都市大学副学長)

PO 3名

(プログラム調整室担当)

競争的資金の適正かつ一層の効率的使用 を目指して、

- ▶書面により、他制度での助成等の受給状況や研究実施環境に関する調査を行う
- ▶その結果、<u>必要に応じて訪問調査を行う</u>
- ▶調査の結果、<u>研究費の増減を含む必要な勧告</u> を行う
- ▶監査ないし不正摘発を目的としたものではなく、 あくまでも研究者が適正な環境下で研究に専念 できるようようサポートすることを目的とする

# 選考除外となる場合

- a. 研究提案者が研究総括と親族関係にある場合。
- b. 研究提案者が研究総括と大学、国研等の研究機関において同一の研究室等の 最小単位組織に所属している場合。あるいは、同一の企業に所属している場合。
- c. 現在、研究提案者が研究総括と<mark>緊密な共同研究</mark>を行っている場合。または過去 5年以内に緊密な共同研究を行った場合。 (例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共 著研究論文の執筆等)
- d. 過去に通算10年以上、研究提案者が研究総括と密接な師弟関係あるいは直接 的な雇用関係にあった場合。"密接な師弟関係"とは、同一の研究室に在籍した ことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に 研究提案者の研究指導を行っていた期間も含みます。
- ※ 研究提案者が研究総括と上記a.~d. に記載した関係に該当するか否かについて明確に判断し難い場合は、「プログラム調整室」のプログラムオフィサーが選考の過程で個別に判断します。

少しでも「該当するかな」と感じられた場合には、事前にお問い合わせください。

問い合わせ先: rp-info@jst.go.jp

# 今後のスケジュール

- 公募締切: 5月15日(火)正午 ※ e-Rad(http://www.e-rad.go.jp)にて早めにご応募ください。
- 書類選考: 5月下旬~7月上旬
- 書類選考結果通知: 6月下旬~7月中旬
- 面接選考: 6月下旬~8月上旬
- 採択課題の通知・発表: 8月下旬
- 研究開始: 10月以降
- 面接選考会日程および領域アドバイザーについては、決まり次第、 募集案内HPにてお知らせいたします。

http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html

# お問い合わせ先

• 募集全般(研究総括との利害関係も含む)に関するご質問

E-mail: rp-info@jst.go.jp

電話番号: 03-3512-3530

• CREST「分子技術」領域に特化したご質問(5月末まで)

E-mail: moltech@senryaku.jst.go.jp

電話番号: 03-3512-3531 (担当:清水、宮下)